

# くどやま

# こんにちは！ 議会 です

第114号

編集  
発行

☎648-0198 和歌山県伊都郡九度山町議会広報編集委員会 ☎0736-54-2019



## 無病息災を願う しめ縄づくり

主な  
内容

審議結果……………P2～3

決算審査報告……………P5

議会構成……………P8

町議会の活動日誌……………P10

主な議案と質疑……………P4

一般質問と答弁……………P6～7

意見書……………P9

編集後記……………P10

## 令和 3 年第 2 回臨時会 ( 会期 11 月 30 日 )

[議案]

番 号	件 名	結 果	議 員 名										
			欠	今井三恵子	井上崇	山下晴夫	阪井亮太	伊丹俊也	玉置秀次	西岡加津子	嶋田勇治	前 番	
議案第 31 号	一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について	可決	—	○	○	○	○	○	●	○	○	欠	—
発議第 5 号	九度山町議会議員の議員報酬及び費用弁償条例の一部を改正する条例について	可決	—	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	—

※議長は採決に参加しません。 ○賛成 ●反対

## 令和 3 年第 4 回定例会 ( 会期 12 月 2 日~17 日 )

[議案]

番 号	件 名	結 果	議 員 名										
			欠	今井三恵子	欠	山下晴夫	阪井亮太	伊丹俊也	玉置秀次	西岡加津子	井上崇	前 番	
認定第 1 号	令和 2 年度九度山町一般会計歳入歳出決算認定について	認定	—	○	—	○	○	○	○	○	○	○	—
認定第 2 号	令和 2 年度九度山町国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について	認定	—	○	—	○	○	○	○	○	○	○	—
認定第 3 号	令和 2 年度九度山町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	認定	—	○	—	○	○	●	○	○	○	○	—
認定第 4 号	令和 2 年度九度山町介護保険特別会計歳入歳出決算認定について	認定	—	○	—	○	○	●	○	○	○	○	—
認定第 5 号	令和 2 年度九度山町簡易水道事業特別会計歳入歳出決算認定について	認定	—	○	—	○	○	○	○	○	○	○	—
認定第 6 号	令和 2 年度九度山町下水道事業特別会計歳入歳出決算認定について	認定	—	○	—	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第 32 号	九度山町手話言語条例の制定について	可決	—	○	—	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第 33 号	一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について	可決	—	○	—	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第 34 号	九度山町国民健康保険税条例の一部を改正する条例について	可決	—	○	—	○	○	○	○	○	○	○	—

[議案]

番 号	件 名	結 果	議 員 名									
			今井三恵子	山下晴夫	阪井亮太	伊丹俊也	玉置秀次	西岡加津子	井上崇	前 橋		
議案第 35 号	九度山町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第 36 号	九度山町国民健康保険条例の一部を改正する条例について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第 37 号	令和 3 年度九度山町一般会計補正予算（第 6 号）について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第 38 号	令和 3 年度九度山町国民健康保険特別会計補正予算（第 2 号）について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第 39 号	令和 3 年度九度山町後期高齢者医療特別会計補正予算（第 1 号）について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第 40 号	令和 3 年度九度山町介護保険特別会計補正予算（第 2 号）について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第 41 号	令和 3 年度九度山町簡易水道事業特別会計補正予算（第 2 号）について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第 42 号	令和 3 年度九度山町下水道事業特別会計補正予算（第 2 号）について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第 43 号	令和 3 年度九度山町一般会計補正予算（第 7 号）について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
請願第 2 号	75 歳以上の医療費窓口負担の 2 割化実施の中止を求める請願書	採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
陳情第 1 号	75 歳以上の医療費窓口負担の 2 割化実施の中止を求める陳情書	採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
陳情第 2 号	75 歳以上の医療費窓口負担の 2 割化実施の中止を求める陳情書	採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
発議第 6 号	75 歳以上の医療費窓口負担の 2 割化実施の中止を求める意見書提出について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※議長は採決に参加しません。 ○賛成 ●反対

[選挙・選任]

番 号	件 名	結 果
選挙第 8 号	副議長選挙について	井 上 崇 当 選
選挙第 9 号	橋本周辺広域市町村圏組合議会議員の選挙について	阪 井 亮 太 当 選
選挙第 10 号	伊都郡町村及び橋本市老人福祉施設事務組合議会議員の選挙について	伊 丹 俊 也 当 選
選任第 4 号	議会運営委員会委員の選任について	今 井 三 恵 子 選 任

# 主な議案と質疑

## 手話言語条例の制定

**問** 条例制定後、具体的な行動計画や行動指針などを作成するのにか？

**答** 今ある計画を見直す際に具体化していききたいと考えています。



## 国民健康保険税条例 (一部改正)

国民健康保険に加入世帯の小学校入学前の子ど

もの国保税均等割額を半額に、2〜7割軽減対象世帯の子どもについては、軽減後の実際に支払っている額を半額にする条例改正。

**問** 軽減対象となる世帯数と人数は？

**答** 11月末で 14世帯 19人です。

## 一般会計補正予算

子育て世帯への臨時特別給付金 **3950万円**

新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中、子育て世帯を支援するため、国の全国一律の支援として、18歳までの子どもがいる世帯に対し、子ども

1人あたり10万円相当の給付を行うこととされました。

本町においては、対象者1人あたり10万円を一括で現金給付する予定です。

**問** 支給対象者と所得制限を超え支給対象にならない人の人数は？

**答** 支給対象者は新生児の見込みを含めて395人。所得制限を超えて支給されない人は16人位です。

**問** 支給は現金一括か？

**答** 現金10万円を一括支給します。

**問** 基準日(9月30日)より後に離婚した場合はどうなるのか？

**答** 離婚後子育てをしていく人が対象となりません。

**問** 所得制限を超え支給

対象にならない人に、町独自に給付することは考えているのか？

**答** 町単独での給付は考えていません。

**問** 今年度中に給付できるのか？

**答** 給付申請を必要とする人以外は12月中に給付できると思います。

**問** 何らかの理由で18歳を超えた高校在学中の場合、町独自として補填の考えはないのか？

**答** 町としては考えていません。

## 一般職の職員の給与に関する条例 (一部改正)

**問** 平均の昇給額は？

**答** 月額1万5769円です。

# 決算審査特別委員会 審査報告

令和2年度九度山町一般会計・特別会計決算について、決算審査特別委員会は次の通り決算審査を行いました。

一般会計、国民健康保険特別会計、簡易水道事業特別会計、下水道事業特別会計については全委員賛成で、後期高齢者医療特別会計、介護保険特別会計は賛成多数で原案の通り認定することに決定しました。

予算の執行については、歳入歳出ともに適正かつ効率的に行われており、基金についてもその目的に従い運用されていると認められました。

## 意見書（要旨）

- 1 一般会計の歳出は、前年度支出額対比で121・21%の増加となっている。増加となった主なものは、新型コロナウイルス対策の諸事業費である。減少となった主なものは、真田まつりなどイベント関係経費である。新型コロナウイルス感染症の収束が見通せない中、町民の命と暮らし、事業者や農家の経営を応援する施策に引き続き取り組んでいただきたい。
- 2 国民健康保険特別会計の保険給付費、保険事業費は予算対比、前年度支出額対比で大幅減になっている。新型コロナウイルス感染症の拡大による受診控えなどの影響によるものと思われる。新型コロナウイルス感染症拡大という特殊事情を勘案しつつ、国保の事業について検証を進めていく必要があると考える。病気や失業など特別な事情でやむなく滞納する加入者に資格証明書を発行しない町の方針を高く評価します。
- 3 後期高齢者医療については、高齢者の健康増進を図るため、広域連合と連携し、集団検診の推進に努めてもらいたい。
- 4 簡易水道事業については、低減傾向にあった有収率が改善されたことを評価します。料金回収率が前年度より減少していることについては、対策が必要だと考えます。簡易水道事業の経営安定化及び施設・管路の更新・耐震化に努められることを強く要望します。
- 5 本町が設置する15基金は、すべて設置目的に沿って運用されていると認めます。「財政調整基金（※）」については、例えばコロナ禍のような非常時において、町民の福祉増進のために機動的に必要な行政を行うため基金の取り崩しを、平時において、計画的な積み立てに努めることを求めます。

以上、決算審査特別委員会の意見といたします。

令和3年10月28日 提出

### ※財政調整基金

自治体が財源不足や緊急の支出が生じた場合に備えて「貯金」として積み立てる基金。財源に余裕がある年度に積み立てておき、災害発生などで必要やむを得ない理由で財源不足が生じた年度に取り崩して活用します。

令和2年度末の残高は、3億8288万円です。

伊丹 俊也 議員

国民健康保険税の  
子どもの均等割軽減について

**質問** 2022年度から、未就学児（小学校入学前）の国保税均等割の5割が公費負担となります。軽減の対象が未就学児で、子育て支援としては充分と言えません。子育て支援を進めるために、本町独自に18歳まで対象を拡大して実施することを提案します。町の見解を尋ねます。

**町長** 現在直面する少子化問題は、町での対応は限界があることから、国が推進する少子化対策として、国保税均等割の軽減措置は、国保の制度上で反映されるべきであると考えます。

**再問**（国保加入者の負担軽減のために町税を使うことは不公平になるという意見に対して）国保基金やふるさと納税（町づくり基金）を財源に

して、実施する考えはありますか。

**町長** 国保基金は1億円ありますが、目的基金ですので国保以外に使えません。広域化（保険料統一化）に向けて、保険料が上がるということになれば、段階的に（基金で）補填していくなど、基金の使い方のテーマになるかと思っています。

（18歳までの拡大は）県の町村会を通じて、国に働きかけていきたいと思っています。

町役場庁舎・公共施設の  
バリアフリー化について

**質問** 町役場庁舎や公共施設（集会所、児童館等）に段差があります。車椅子対応トイレは役場庁舎では1階の1カ所だけです。集会所などでトイレの洋式化が進んでいます。車椅子対応ではありません。今後の高齢化を考えると、バリアフリー化する改修が急務だと考えますが、見解を尋ねます。

**町長** 車椅子対応トイレは、役場庁舎1階とふるさとセンター1階に設置しています。今後、庁舎の大規模な改修が行われる場合には、車椅子対応トイレ（の増設）や段差については、可能な限り対応できるように設計を検討して参りたいと考えています。



▲ 椎出児童館



▲ 町役場1階の車椅子対応トイレ

**本町職員の障害者雇用について**  
**質問** 本町の障害者雇用の状況について尋ねます。

**町長** 必要雇用数3名に対して、現在の雇用数は3名となっています。

**再問** 障害者枠を設けて職員を募集する考えはありますか。

**総務課長** 今のところ考えていませんが、今後、検討して参りたいと思っています。

山下晴夫議員

九度山・河根小学校の

150周年について

**質問** 共に来年創立150周年を迎えます。町として何らかの取り組みを考えているのか尋ねます。

**教育長** 大きな記念事業の場合、数年前から学校とPTAが相談をし、準備委員会で行うのが通例の進め方ですので、自治体として直接事業計画を行うことはありません。積み立てた財源が不足しておれば寄附金を募るのが慣例となっており、教育委員会として、両学校どちらにも平等に支援することは現状では難しいかと考えています。

**再問** 一昨年、体育館（九度山文化スポーツセンター）の10周年記念には子どもたちのために予算を立てていました。150周年記念に自治体

は関係ないということですか。

**町長** 教育長の考えはあれでいいと思います。これは私の考えですが、町民の子どもたちのことを考えれば予算をつけるべきと考えています。実行委員会の皆さんでどのような事業をするのか計画を立て、それに対して必要であれば、町もしっかりとバックアップしたいと思います。

SNS等による  
子どもの犯罪被害について

**質問** SNSを通じて子どもが事件に巻き込まれるケースが後を絶たちません。何らかの対策が必要と思いますが、町の考えを尋ねます。

**教育長** インターネットの危険性に関する授業等を実施していますが、SNSを通じて、気持ちの入れ違いや誤解などでトラブルが発生するということも起こっています。これらは氷山の一角であり、

裏の部分は、子どもたちへの教育による啓発以外にないということ、先生方に努力していただいています。

トロッコ道の整備について

**質問** 不動谷川・丹生川沿いの雑木を処理し、景観を良くする考えはありませんか。

**町長** トロッコ道は、本町のかけがえのない財産であり、保守管理及び安全な環境づくりを実施していきたいと思えます。ただし、雑木はほとんど私有地であり、伐採には同意が必要となります。

文化財のPRについて

**質問** 高野山絵図に描かれている榎尾道と榎尾山明神社・遍照寺、そして縁起の良い名の勝利寺。町として、もっと発信すべきと思いますが町の考えを尋ねます。

**教育長** 絵図だけでは古道として指定し難いので、榎尾山明神社・遍照寺と関連付けてPRするのは難しいと考えています。勝利寺については、歴史的にも重要な史跡と考えられますので、町内外にこの史跡を知らせていければと考えております。

**再問** 発信の仕方によっては、多くの人に訪れていただけだと思います。そして、ふるさと納税に繋がればと思っていますので、しつかりPRをしていただきたいが、その辺の考えは。

**教育長** 歴史的な評価の裏付けを十分して、価値を高め、そして評価を受けるような文化財あるいは建造物にしていきたいと思っています。

**町長** 勝利寺の話ですが、総代制を敷いて管理していますので、町がどうこうするというのは非常に難しいです。

訃報 嶋田議員逝く



嶋田勇治氏は、平成 19 年 4 月に初当選され、議会運営委員長をはじめ各常任委員長を歴任されました。昨年 5 月から副議長として重職を務められている最中、令和 3 年 11 月 30 日、76 歳で永眠されました。さぞかし心残りであっただろうとお察し申し上げます。

議員として 14 年 7 か月の永きにわたり地域の発展はもとより、町行政の発展にご尽力されました。ここに生前の功績を偲び、心よりのご冥福をお祈りいたします。

お知らせ《議会人事》

12 月定例会初日の 2 日に副議長の選挙を行い、最終日 17 日に一部事務組合議員選挙及び議会運営委員会委員の選任を行いました。

副議長に井上崇議員、橋本周辺広域市町村圏組合議会議員に阪井亮太議員、伊都郡町村及び橋本市老人福祉施設事務組合

議員に伊丹俊也議員が議長による指名推薦で選出されました。

また議会運営委員会委員に今井三恵子議員が選任されました。

以上の選挙・選任により、議会構成に変更が生じましたのでお知らせいたします。

令和 3 年 12 月 17 日 現在

<b>副議長</b>	井 上 崇
<b>議会運営委員会</b>	
<b>委員長</b>	井 上 崇
<b>副委員長</b>	山 下 晴 夫
<b>委 員</b>	今 井 三 恵 子 (新)
<b>委 員</b>	伊 丹 俊 也
<b>委 員</b>	西 岡 加 津 子
<b>一部事務組合議会</b>	
<b>橋本周辺広域市町村圏組合議会議員</b>	阪 井 亮 太 (新)
	井 上 崇
<b>伊都郡町村及び橋本市老人福祉施設事務組合議会議員</b>	伊 丹 俊 也 (新)

副議長就任のあいさつ



副議長 井上 崇

新年おめでとうございます。12 月定例会において、議長から指名推薦をいただき、副議長の重責を担うこととなりました。前副議長の故嶋田勇治議員の想いを継承しながら、議長をサポートし、議会活性化に努めたいと思います。

今年、1 月 16 日の議員補欠選挙に始まり、4 月 24 日の町長選挙、夏の参議院選挙と続き、私たちの町の将来を決める大切な年です。

新しい議員と共に力を合わせ、微力ではありますが、町政発展に努めて参りたいと思います。

住民の皆様にとっても、幸多い良き年になりますよう祈念いたします。



# 「75歳以上の医療費窓口負担の 2割化実施の中止を求める意見書」を 全会一致で採択

議会最終日（12月17日）に、橋本伊都社会保障推進協議会及び全日本年金者組合伊都支部から出された「75歳以上の医療費窓口負担の2割化実施の中止を求める請願書」を全会一致で採択しました。

また、橋本伊都民主商工会及び新日本婦人の会伊都支部から出された同趣旨の陳情書も、同日全会一致で採択しました。

意見書は下記の内容で、内閣総理大臣、厚生労働大臣及び財務大臣へ提出しました。

## 意見書（抜粋）

2021年6月4日参議院本会議で75歳以上の医療費窓口負担2割化法が可決され、この法律が実施されると2022年後半から年収200万以上の人370万人（後期高齢者医療制度加入者の約20%）が、現状1割から2倍の2割負担となります。

国会審議の中で、①2割負担導入による現役世代の負担軽減効果は、月額約30円である、②コロナ禍の今、高齢者への負担増は受診控えを招くことが、各種調査で明らかになっている、③2割負担増の対象者を政令によって広げることができること等、数多くの問題点があきらかになりました。

コロナ禍で高齢者の受診控えが進んでいる中、必要な医療が受けられなくなることを前提にした負担増は、高齢者のいのち・健康権・人権の侵害です。

強制加入の社会保険では、必要な給付は、保険料だけでなく、公的負担と事業主負担で保障すべきです。

75歳以上の医療費窓口負担2割化は、高齢者の暮らしといのち、健康を守る上で大きな影響を及ぼします。

以上の趣旨により、意見書を提出致します。

## 記

1. 75歳以上の医療費窓口負担の2割化実施の中止すること。



「九度山手話サークル真田」他関係者のみなさんと町長、議員で条例可決後、記念撮影

ご意見・ご要望をお待ちしております

宛先 〒648-0198  
九度山町大字九度山1190  
議会事務局「議会広報編集委員会」あて

TEL 54-2019(代表)  
FAX 54-4705(直通)  
mail [gikai@town.kudoyama.lg.jp](mailto:gikai@town.kudoyama.lg.jp)



**次回、定例会は3月に予定されています。**  
日程が決まり次第、ホームページに掲載します。  
<https://www.town.kudoyama.wakayama.jp/>

## 町議会の活動日誌

- 11月** 4日 伊都橋本四市町議会議長会議  
25日～26日 全国町村議会第65回議長全国大会  
30日 議会運営委員会  
全員協議会  
本会議（臨時会）
- 12月** 2日 議会運営委員会  
本会議（定例会）  
全員協議会  
10日 本会議（定例会）  
全員協議会  
議会広報編集委員会  
13日 総務文教常任委員会  
14日 産業厚生常任委員会  
17日 議会運営委員会  
本会議（定例会）  
全員協議会  
議会広報編集委員会  
23日 議会広報編集委員会
- 1月** 7日 議会広報編集委員会  
21日 県町村議会議長会理事会

### ◇ 編集後記 ◇

令和3年11月30日に嶋田勇治副議長がご逝去され、大変残念でなりません。謹んでご冥福をお祈りします。

約2年間コロナ禍の中、イベントなどの諸行事が中止となり、寂しい限りです。令和3年8月頃に感染者数が日々増加しておりました。事業売上が減少した方もおられ、大変な思いをしながらも一生懸命頑張っておられます。医療従事者の方々には感謝しております。

現在コロナは落ち着いていますが、新たなオミクロン株が発生しておりますので、十分に手指の消毒をし、マスク着用など感染予防を心掛けたいです。

令和4年こそ、コロナの収束を願ひ、町民の皆様方には元気で健康であるよう心よりお祈り申し上げます。

議会広報編集委員会

委員 今井 三恵子

(令和3年12月末現在)